

2015 年度下半期事業計画

I. くらしと産業に関する講演会・研究会・シンポジウムの開催

1. 講演会の開催

(1) 第 20 回関西講演会

- ・日 程 2015 年 10 月 21 日（水）14:30～
- ・会 場 関電会館 6 号会議室
- ・テーマ 「水素エネルギーの開発状況—展望と課題」
- ・講 師 宮崎 淳氏 [岩谷産業(株) 水素エネルギー部長 常務執行役員]

当日は当センター2015 年度事業計画の推進状況について報告する。

(2) 2016 年新春講演会について

- ・日 程 2016 年 1 月 20 日（水）
- 基調講演
- ・テーマ 「温暖化対策への取組み」—COP21 の課題と展望—
- ・講 師 井上 宏司氏 [経済産業省 産業技術環境局長]

シンポジウム

- ・テーマ 「わが社の環境問題への取組み」
COP21 の結果を受けて、エネルギー・環境関連企業数社又は団体より発表

- ・具体案については第 3 回役員会（12 月 18 日（金）において提案する。

2. くらしと産業に関する調査・研究事業

(1) 「エネルギー・環境セミナー」の継続

別途報告のとおり、本年度は既に第175回～178回を開催した。

下半期においては次のテーマについて企画する。

・第179回

- ・日 程 2015年9月29日(火)
- ・会 場 KKR HOTEL TOKYO
- ・テーマ 「電力事業の温暖化ガス削減目標」
- ・講 師 勝田 実氏 [電気事業連合会 業務部長]

・第180回(第64回施設・工場視察、業際間交流会と合同開催)

- ・日 程 2015年10月22日(木)～23日(金)
- ・場 所 立山製紙(株)、富山ライトレール、黒部第4ダム視察

・第181回

- ・日 程 2015年12月18日(金) 第3回役員会開催時
- ・会 場 ホテルサンライト新宿
- ・テーマ 「COP21と今後の課題」
- ・講 師 田尻 貴裕氏 [経済産業省 産業技術環境局 地球環境対策室長]

(2) 第32回エネルギー事情懇談会

日 程 2015年12月14日

ゲ ス ト 深野 弘行氏 [伊藤忠商事(株) 執行役員]

テ ー マ エネルギー・環境分野での経験を振り返って

元特許庁長官。
通商産業省大臣官房参事官、原子力安全・保安院企画調整課長、
資源エネルギー庁長官官房総合政策課長、原子力安全・保安院院長などを歴任

(3) 「都市と交通問題研究会」の継続

別途報告のとおり、本年度は既に4回開催した。下半期においては次のテーマについて企画する。

・第144回

- ・日 程 2015年10月28日(水)
- ・会 場 KKR HOTEL TOKYO
- ・テーマ 「第10次交通安全基本計画の策定について」
- ・講 師 西村大司氏 [国土交通省 総合政策局総務課 交通安全対策室長]

・第145回

- ・日 程 2015年11月13日(金)
- ・会 場 KKR HOTEL TOKYO
- ・テーマ 「ネット社会におけるサイバー攻撃と交通インフラ防衛策」
- ・講 師 金子英幸氏 [国土交通省 総合政策局情報政策課長]

その他、次のテーマについて適宜具体化する。

- ・東京オリンピック(2020年)に向けた交通政策
- ・少子高齢社会における公共交通機関の役割
- ・大都市圏におけるタクシーの需給関係を考える
- ・公共交通機関内での乗客のマナー問題
- ・乗合バスの経営環境と課題
- ・「人身事故」をめぐる対策
- ・高速鉄道の展開と課題
- ・成田・羽田等の空港機能の高度化について

II. くらしと産業に関する交流会、情報収集活動

施設・工場視察、業際間交流会

この事業は国民・生活者は生産の原点を正しく理解し、生産者・供給者は国民・生活者の立場に立って生産、供給活動を展開し、相互理解を深めることを旨として実施されるものである。

今回は北陸新幹線の金沢開通もあり、北陸方面への視察希望多く、次の通り企画する。

・第 64 回（第 180 回エネルギー・環境セミナーと合同開催）

1. 実施日程 2015 年 10 月 22 日（木）～23 日（金）

2. 視察箇所概要並びに現地対応

(1) 富山ライトレール(株)

JR 西日本が運営していた路線を第 3 セクターの富山ライトレールに移管し路面電車 (LRT) 化。2006 年 4 月営業開始。

今後の人口減少や高齢化社会などに対応するため、富山市は、鉄軌道をはじめとする「公共交通を利用したコンパクトなまちづくり」の実現に向けて様々な取り組みを進めており、当路線もその一翼を担うものと期待されている。

国土交通省の紹介により富山ライトレール(株)を訪問、部長より設立経緯と現状について説明を受ける。

(2) 立山製紙(株)

1918 年（大正 7 年）、地元有志により、木箱やブリキ缶に比べ軽く安価な紙箱用の板紙を製造する会社として創業。本の表紙の芯材やパッケージ材に利用する「板紙」、セロハンテープの芯になる「紙管」の原紙を生産。本社工場では、木質チップバイオマスボイラーを使用したり、太陽光発電を行ったりする等、環境にも配慮。

立山製紙は当センター会員、文昌堂の紹介による。当日は社長の山本和義氏より説明を受ける。

(3) 黒部第4ダム

日本を代表するダムの1つであり、富山県東部の黒部川上流に建設されたアーチ式コンクリートダム。発電に利用する水を確保することを主目的として関西電力によって建設された。ダムの高さ(堤高)は186mで日本一を誇る。総工費は建設当時の費用で513億円。作業員延べ人数は1,000万人を超える。

戦後日本の経済復興に大きく貢献した。

当日は関西電力近藤忠司お客さま本部お客さまサービス部長(当センター理事)らにより、ご案内いただく。

3. 参加予定者

(敬称略・順不同)

副会長	工藤 芳郎	(一社) ぐらしのリサーチセンター	専務理事
理事	近藤 忠司	関西電力(株) お客さま本部	お客さまサービス部長
理事	佐藤 良一	(株)日立製作所 渉外本部	渉外部 部長
理事	関根 徹	東京ガス(株) リビング本部	お客さまサービス部 お客さま相談室 室長
理事	日野 裕司	全日本空輸(株) 総務・CSR部	総務チーム リーダー
理事	深尾 修	本田技研工業(株) 渉外部	担当部長
理事	菊本 哲雄	東京急行電鉄(株) 鉄道事業本部	事業戦略部 総括課 主査
	太田 貴士	関西電力(株) お客さま本部	お客さまサービスセンター リーダー
	紙本 達宏	東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部	サービス品質改革部 課長 CS推進グループ
	松井 規雄	大阪ガス(株) リビング事業部	マーケティング推進部 お客さま室 マネジャー
	阿部 雄介	四国電力(株) 東京支社	業務課 副長
	松田 英也	東北電力(株) 東京支社	業務課 主務
	綾部 光明	東武鉄道(株) 鉄道事業本部	計画管理部 課長
	屋鋪 誠	北陸電力(株) 東京支社	調査チーム 統括課長
	松田 高幸	九州電力(株) 東京支社	営業グループ 副長
	藤谷 栄一	(株)文昌堂 営業第一部	次長

Ⅲ. 国際交流の促進

CSR 活動についての国際交流について

1 ベトナム CIEM CSR 研修交流事業

本年 7 月の「CSR 研修セミナー」の実績をもとに今後の展開について検討する。

CSR に関する研究・交流、セミナー参加についてベトナム貿易大学の要望により 2016 年度事業として次のことを検討する。

- (1) 貿易大学日本語学部教授、学生（若干名）を招聘する
- (2) 時期 2016 年 7 月（夏休み中）
- (3) 日本企業（CSR 研修）並びに大学訪問（学生との交流）
- (4) 日本の大学に「CSR 講座」開設を勧奨する（現在早大等と折衝中）

2 日中間民間交流の促進

当センターは創立以来 24 回の海外事情調査団を派遣しているが、そのうち中国への派遣は 5 回にのぼる。

- 「中国におけるエネルギー・環境事情に関する調査団」（2004 年）
- 「発展する華東、華南地区を中心とした、エネルギー・環境・交通事情の視察調査団」
(2005 年)
- 「日中国交回復 35 周年記念 発展する中国東北地方のエネルギー、環境、交通事情調査」
(2007 年)
- 「発展する中国経済社会の現状と課題に関する事情調査団」（2010 年）
- 「日中国交回復 40 周年記念” 中国事情視察団」（2012 年）

また 2014 年 10 月には「上海上投国際コンサルティング存限公司」
怡豊集団発展有限会社より「中日民間交流促進セミナー」参加要請（招聘）により「わが国における CSR 活動」を紹介した。
以上の実績をもとに引き続き民間交流を促進する。

当面、丹羽宇一郎氏 [日中友好協会会長]（前北京大使、元伊藤忠商事会長）との懇談、意見交換（10 月 8 日（木））を行うなど、今後の具体化を図る。

IV. 暮らしと産業に関する刊行物の発刊

1. 定期刊行物

- くらしのレポート（隔月発刊）
- くらしのトレンド（毎月上・下旬）

2. （一社）東京ハイヤー・タクシー協会 協力事業

「タクシー展望No.59」2015年9月号発刊

テーマ：IT推進時代によるタクシーサービス工場と今後の課題

「タクシー展望No.60」2016年3月発刊

V. その他

1. 第3回 役員会について

日 程 2015年12月18日（金）
15：00～16：00 役員会
16：10～17：30 講演会
18：00～ 忘年会

場 所 ホテルサンライト新宿

2. 2016年新春特別講演会並びに賀詞交歓会について

日 程 2016年1月20日（水）
場 所 KKR HOTEL TOKYO